2009年５月号表４頁「メトス」
【資料請求番号　001】

本場のサウナが日本上陸

圧倒的なロウリュを楽しむフィンランド製「ikiサウナ」

サウナ発祥の地フィンランドから「iki（イキ）サウナヒーター」（ikiサウナ）が日本に上陸しました。これまでにない多量の石を搭載して高いロウリュ力を発揮、60℃から70℃の室温で快適に入浴できます。それは2千年以上の伝統をもつ「スモークサウナ」スタイルの再現。その快適感は、今までのサウナにはありません。伝統のサウナスタイルを蘇らせた「ikiサウナ」。日本のサウナシーンが大きく変わります。

ニュージャパン・スパプラザ（大阪）

サウナは今、原点に回帰

本来のサウナは「ロウリュ・熱気浴」

今から2千年以上も前、フィンランドでサウナの歴史がスタートしました。当時のサウナは「スモークサウナ」と呼ばれるもので、かまどに石を入れ、それを熱して部屋を暖め、石への蓄熱と輻射熱を利用して入浴するものでした。燃料は薪です。

やがて電気式のヒーターになった時、石は大幅に減りました。その理由は、電力事情と設置スペース。ところが、電力事情が改善されても石が増やされることはなく、同じストーブが使われ続けました。

また日本では、ガス遠赤外線サウナが独自に開発され、遠赤外線効果による「発汗浴」を楽しむものとなり、本場のサウナからは遠ざかってしまいました。

しかし、二十一世紀を目前に、フィンランド人のMrケラマンは「ikiサウナ」を開発します。この新しいサウナは、スモークサウナと同じようなロウリュ浴を望んでいた人々から圧倒的な支持を受けました。

ロウリュで体感温度を上げる健康入浴

「ikiサウナ」の入浴方法は、サウナの室温を60℃～70℃とし、石が詰まった「ikiサウナヒーター」に水を掛け、そのロウリュによって体感温度を上げるものです。室温を上げて汗を出すのではなく、ロウリュを肌で感じて汗を出すので、高すぎる室温による体への過度な負担もなく、高い満足を生み出します。

また、エネルギーの節約にもなり、CO_2の発生も抑制します。

また「ikiサウナ」の美しい円筒形のケーシングは、通常の電気式サウナヒーターの約5倍の石を搭載しながら設置スペースを最小限に抑える美しいデザインです。これまでのサウナヒーターは「裏方」であり、隠すものでしたが「ikiサウナヒーター」は美しいオブジェとして、入浴者の目を楽しませます。

日本ではこれまで、フィンランドのサウナを知りませんでした。しかし「ikiサウナ」の上陸によって、本物のサウナを体験できる施設が、日本各地にオープンすることになります。今までと違ったサウナファンが増えることは間違いありません。

プーチン首相も「ikiサウナ」の愛好家

ロシアのプーチン首相は、インターネットで見つけた「ikiサウナ」に一目惚れ。早速、購入して別荘に設置しました。Iki社ではこの出会いを記念した48kWのストーブを「iki putin」と命名しました。

iki®

始まります。サウナ新時代

メトス「iki」サウナ

日本の厳しい耐震基準にも適合

特許、意匠登録、商標登録各申請済

株式会社 メトス（旧社名：中山産業株式会社）
昭和飛行機グループ

上質のくつろぎを世界基準でプロデュース
暖炉　薪ストーブ　バス　スパ　サウナ　介護浴槽

東京本社事務所移転のお知らせ

東京本社、及び東京ショールームが下記に移転いたしました。
移転先住所 〒104-0045 東京都中央区築地6-16-1 ダヴィンチ築地616 2F・3F
TEL.03-3542-0333（代） FAX.03-3542-6765

札幌・東京・名古屋・大阪・福岡・沖縄　http://METOS.co.jp

ロウリュこそサウナの醍醐味

10年ほど前に、初めてサウナでロウリュを体験。これこそ本物のサウナだと実感し、以来その普及に努めてきました。最近「ikiサウナ」の存在を知りましたが、石の量とパワーに圧倒されました。しかもコストパフォーマンスにもすぐれている。早く、ひとりでも多くの人に体験してもらいたいと思っています。

株式会社アクトバス 代表取締役社長 温浴ビジネスプロデューサー
望月 義尚
ブログ「一番風呂日記」http://spa-net.cocolog-nifty.com/